

2012 广州国际电子键盘艺术节暨第二届中国音乐院校电子管风琴发展研讨会圆满结束

2012 広州国際電子キーボードアーツフェスティバル

および第 2 回中国音楽大学電子オルガン発展シンポジウムが成功裡に終了

作者：星海音乐学院 加入时间：2012-12-2 2:57:37 阅读：145

作者：星海音楽学院 アップデート：2012-12-2 2:57:37

翻訳：永田 瑞木

11 月 19 日上午，由星海音乐学院主办，中外多家音乐学院、艺术高校及社会文艺团体协办的“广州国际电子键盘艺术节暨第二届中国音乐院校电子管风琴发展研讨会”在星海音乐学院音乐厅隆重開幕。亚太电子键盘协会主席阿方俊、美国爵士风琴演奏家理查德·格雷森、日本双排键电子琴演奏家安藤禎央、中国音协电子键盘学会会长芦小鸥等国内外电子键盘界的知名专家学者、著名演奏家、学科带头人、资深教育家近 200 人汇聚一堂，在高层次、高水平的艺术交流平台上，共同探索电子键盘艺术的新发展、新合作。

11 月 19 日午前、星海音楽学院が主催し、内外の多くの音楽大学、芸術系高等教育機関及び社会文芸団体が協賛した「広州国際電子キーボードアーツフェスティバルおよび第 2 回中国音楽大学電子オルガン発展シンポジウム」が星海音楽学院の音楽ホールで盛大に幕を開けた。アジア・パシフィック電子キーボード協会(APEKA)主席の阿方俊、米国のジャズオルガニストリチャード・グレイソン、日本の電子オルガン演奏家安藤禎央、中国音協電子鍵盤学会会長芦小鸥等、国内外の電子キーボード界の著名な専門家、学者、演奏家、学問分野のリーダーやベテラン教育家ら 200 名近い人々が一堂に会し、ハイレベルな芸術交流の場において、共に電子キーボード芸術の新たな発展と協力の道を探った。

广州国际电子键盘艺术节暨第二届中国音乐院校电子管风琴发展研讨会以開阔国际视野，创造国际学术交流平台为宗旨，繁荣地区电子键盘艺术为目标，以有毗邻港澳，辐射东南亚地缘优势的星海音乐学院作为依托背景，按国际化标准的要求，通过电子键盘艺术探索的展示及学术研讨，拓展和深化电子键盘艺术研究，提高电子键盘艺术的创新水平，促进电子键盘艺术多元化、多层次、多方位的和谐发展，全面展示电子键盘的独特音乐魅力，推动电子键盘艺术在广东乃至全国的普及和提高。

広州国際電子キーボードアーツフェスティバルおよび第 2 回中国音楽大学電子オルガン発展シンポジウムは、視野を世界に広げ国際学術交流の場を創造することを目的とし、地域の電子キーボード芸術を盛んにすることを目標として、香港マカオに隣接し東南アジアにも近いという地の利に恵まれた星海音楽学院を後ろ盾として、グローバルスタンダードの要求に基づき、電子キーボード芸術の探求を展示し、学術研究討論することを通じて電子キーボード芸術研究を開拓・発展・深化させ、電子キーボード芸術の創造レベルを向上させ、電子キーボード芸術の多面的・多層・多方位にわたる調和の取れた発展を促進し、電子キーボード独特の音楽的魅力をあますことなく呈示し、電子キーボード芸術の広東ひいては全国への普及・向上を促進するものである。

本次交流研讨会从 11 月 19 日持续至 23 日，为期 5 天。活动内容丰富，形式多样，合共举办了权威电子键盘教育家、演奏家的学术讲座 8 场；发布了各国家地区电子键盘专家学者的学术报告会 8 份；发表了各国家地区电子键盘学科代表的教研成果 7 项；进行了论文宣讲 21 篇。举办了专业发展研讨会 1 场，各地区电子键盘协会信息交流会 1 场及中国雅马哈双排键教师俱乐部年会 1 场；举办了著名电子键盘演奏家的音乐会 7 场及公開課 3 场。与会人员为交流研讨会规格之高、大师之多、范围之广、内容之丰富感到欢欣鼓舞，也为星海音乐学院会务安排之有序、贴心而感动。

開幕式及開幕式音乐会

開会式と開会式演奏会

在開幕式上，唐永葆院長和亞太電子鍵盤協會主席阿方俊分別為開幕式致辭。

開會式で、唐永葆院長と阿方俊アジア・パシフィック電子キーボード協会主席が開会祝辞を行なった。

唐院長在熱情洋溢的致辭中，首先代表全院師生對各方來賓和專家表示熱烈的歡迎和親切的問候！對在國內外電子鍵盤領域中默默耕耘并不斷作出貢獻的各國專家、學者以及演奏家、教育家們表示崇高的敬意！隨後，還簡要介紹了星海音樂學院電子鍵盤專業的發展情況，并充分肯定了搭建這一交流平台的積極意義及作用。唐院長指出，在多元與融合的音樂發展中，電子鍵盤這個新興的樂器該如何定位與發展，如何在演奏與教學、普及與提高中挖掘出自己獨特的功能作用與審美價值，是值得電子鍵盤工作者思考和實踐的問題，他期待本次活動在這些方面有所收穫。最後，他預祝本次交流研討會圓滿成功！祝願參加本次交流研討會的各方來賓和專家在廣州生活愉快！

唐院長は情熱にあふれた言葉の中で、まずは全学院の教師と学生を代表して各ゲスト、専門家の人々に熱烈な歓迎と心からの挨拶を述べ、国内外で電子キーボードの領域において黙々と努力し絶えざる貢献をしてきた各国の専門家・学者及び演奏家や教育家の人々に最上の敬意を表した。つづいて簡単に星海音楽学院電子キーボード専攻の発展情況を紹介し、この交流の場を設けたプラスの意義と役割を高く評価した。唐院長は、音楽が多面的かつ融和しながら発展していく中で、電子キーボードという新興の楽器をどのように位置づけ発展させていくか、演奏と指導、普及と向上において如何にして独自の機能的な役割と審美的な価値を掘り起こすか、ということは電子キーボードを仕事とする者が深く考え実践するに値する問題であると指摘し、今回の活動を通じてこうした方面の収穫があることを期待すると述べた。最後に院長は本交流シンポジウムの成功を祈念し、参加したゲストや専門家の人々が広州での滞在を楽しまれることを願って挨拶の言葉とした。

阿方俊主席在致辭中表示這次藝術節齊聚了電子鍵盤的各國專家，這一交流機會相當難得，同時，他對電子鍵盤在中國的發展相當看好，他認為電子鍵盤在日本的發展已經接近飽和狀態，甚至出現輕微下滑的態勢，然而在中國，電子鍵盤處於蓬勃發展的階段，上升的空間和市場都很大，有待開發。

阿方俊主席は挨拶の言葉の中で、このアーツフェスティバルには各国の電子キーボードの専門家が勢ぞろいしており、このような交流の機会は得難いものだと言った。同時に主席は中国における電子キーボードの発展への期待を示し、電子キーボードの発展は日本では飽和状態に近く、やや下降の傾向すら感じられるが、中国では盛んに発展している段階であり、さらなる発展の余地と広大な市場が開拓を待っているとの考えを述べた。

簡短的開幕式后举行了盛大的欢迎音乐会。星海音乐学院交响乐团与电子键盘、民乐、管弦等专业学生联袂为来宾奉献了《海上丝路》、《留白》、《敦煌魂》、《远山》、《Cicada》、《圣桑第三交响曲》等精彩节目，值得一提的是音乐会曲目除圣桑作品外均为电子键盘专业原创或自编作品。

簡潔な開會式の後には盛大な歓迎演奏会が催された。星海音樂學院の交響樂團と電子キーボード、民族樂器、管弦等を專攻する學生が合同で來賓に「海上のシルクロード」、「留白」、「敦煌の魂」、「遠山」、「Cicada」、サン・サーンス「交響曲第3番」等の素晴らしい演目を捧げた。音樂会の曲目がサン・サーンス作品以外はすべて電子キーボードのために作曲または編曲されたものだったことは特筆に値する。

学术讲座与报告

學術講座と報告

第一场学术讲座由亚太电子键盘协会主席阿方俊主讲，主题为“数码键盘乐器时代的到来与乐际教育”，从历史角度回顾数码键盘乐器的发展，系统总结了数码键盘乐器的音乐类型，进而阐述了乐际合作在数码键盘

音乐创作、编排中的必要性与体现。接下来的每场都由国内外电子键盘界的知名专家学者、著名演奏家、学科带头人、资深教育家主讲，主题各异，思路开阔，走在学术的前沿，给了与会人员极大的启发。

最初の学術講座は APEKA の阿方俊主席が担当し、「サイバーキーボード時代の到来と楽際的教育」とのテーマで、歴史的な角度からサイバーキーボードの発展を振り返り、その音楽類型を系統立って総括し、その上でサイバーキーボード音楽の創作や編成における楽際的な協力の必要性和体现について掘り下げて論述した。つづく各講座もすべて国内外の電子キーボード界の著名な専門家や学者、演奏家、学科のリーダーやベテラン教育家によるもので、主題もそれぞれなら考えも幅広く、学術の先端を行く内容で、参加者を啓発するところ大であった。

公开课

公開講座

日本演奏家山口綾規、太田茂、安藤禎央分別親授了“管風琴演奏”、“電子風琴与管乐、打击乐合奏排练”和“双排键电子琴编曲与演奏”公开课，受指导學生无不感到十分榮幸，认为大师的指导极具启发性，对日后的学习将产生长远的影响。太田茂先生用合奏的形式把电子管风琴融合、应用的特点充分展示出来，首次来华的安藤禎央是拥有超高人气的演奏家，他在公开课上独特的奏法讲解开阔了电子管风琴学习者的视野。

日本の演奏家山口綾規、太田茂、安藤禎央がそれぞれ自ら“オルガン演奏”、“電子オルガンと管打楽器のアンサンブルリハーサル”と“電子オルガンの編曲と演奏”の公開講座を行い、指導を受けた学生で光榮に思わない者はなかった。皆、大家の指導は啓発に富み、今後、先々までの学習に影響を及ぼすことだろうと感じた。太田茂先生はアンサンブルの形式で電子オルガンの融合と应用の特色を余すことなく表現した。初来中した安藤禎央は非常に人気の高い演奏家であり、彼の公開講座での独特の奏法解説は電子オルガン学習者の視野を広げた。

音乐会

コンサート

艺术节期间共举办了7场精彩纷呈的音乐会，除开、闭幕式音乐会外，日本管风琴演奏家山口綾規、双排键电子琴演奏家安藤禎央和中央音樂学院的沈媛老师都分別奉上精彩绝伦的独奏音乐会。来自马来西亚的演奏家乔纳森巫与众多参会音院師生代表也分別举办了吟飛電子管風琴音乐会及汇报音乐会。有与会的老师表示，能在短短几天内，欣赏到如此多的大师音乐会，实属难得，不枉此行。

アーツフェスティバル期間中に計7回のバラエティ豊かなコンサートが催された。開、閉会式の演奏会のほかに、日本のオルガニスト山口綾規、電子オルガン演奏家安藤禎央と中央音樂学院の沈媛先生がそれぞれこの上なく素晴らしいソロコンサートを披露した。マレーシアから来た演奏家ジョナサン・ウーと参加した多くの音大学生の代表がそれぞれ吟飛電子オルガンコンサートと報告コンサートを挙行了。ある参加者の先生は、わずか数日のうちにこれほど多くの大家のコンサートを鑑賞できる機会などめったにない、今回の旅は期待に違わなかったと語った。

研讨会与信息交流会

シンポジウムと情報交換会

第二届中国音樂院校電子管風琴發展研討會上，来自全国各大音樂院校的学者和教师、电子键盘专业相关领域的专家分享了各自的实践经验和教学实例，就电子管风琴的教学等问题积极发言，各抒己见。

第2回中国音樂大学電子オルガン發展シンポジウムでは、全国の音樂大学の学者と教師、電子キーボード専攻関連領域の専門家が各自の實踐経験と指導の事例を分かち合い、電子オルガンの指導等の問題について積極的に発言し、それぞれが存分に意見を述べた。

在 23 日召开的中国各地区电子键盘协会信息交流会上，来自中国各地的电子键盘社团协会代表汇聚一堂，分别对地区的电子键盘事业进行介绍与交流，从大家的发言中可以看出对电子键盘艺术一致的热爱。

23 日に開かれた中国各地域の電子キーボード協会の情報交換会では、中国各地の電子キーボード社团協会代表が一堂に会し、地域の電子キーボード事業について紹介、交流した。参加者の発言からは等しく電子キーボード芸術への熱愛が感じられた。

闭幕式及音乐会

閉会式とコンサート

11 月 23 日下午，为期五天的广州国际电子键盘艺术节暨第二届中国音乐院校电子管风琴发展研讨会落下帷幕。在闭幕式上，广东省音乐家协会主席刘长安、中国电子键盘学会会长芦小鸥、亚太电子键盘协会主席阿方俊和此次艺术节副主席、星海音乐学院副院长雷光耀分别为闭幕式致辞。

11 月 23 日午後、5 日間に及ぶ広州国際電子キーボードアーツフェスティバルおよび第 2 回中国音楽大学電子オルガン発展シンポジウムが幕を下ろした。閉会式では、広東省音楽家協会の劉長安主席、中国電子キーボード学会の芦小鷗会長、APEKA の阿方俊主席と今回のアーツフェスティバル副主席である星海音楽学院の雷光耀副院長がそれぞれ言葉を述べた。

刘长安主席对艺术节的成功表示祝贺，对星海音乐学院予以了高度肯定，并表示广东省音协将来一定全力支持星海音乐学院举办更多这样的活动。

劉長安主席はアーツフェスティバルの成功を祝し、星海音楽学院を高く評価した。そして広東省音協はこの先必ずや、星海音楽学院がより多くのこのような催しを開催するのを全力で後押しすると表明した。

芦小鸥会长在致辞中形容此次艺术节是一次艺术盛宴，充分展现了近年来中国电子键盘专业的发展成果，并勉励星海音乐学院及所有与会的来宾为电子键盘事业继往开来，奋发图强。

芦小鷗会長は挨拶の中で今回のアーツフェスティバルを盛大なアートの宴と形容し、近年の中国電子キーボード専攻の発展の成果が十分にくり広げられたと評し、星海音楽学院とすべての参加した来賓が電子キーボード事業のために前人の事業を継承すると共に将来の発展に道を拓き、奮起して励むよう激励した。

阿方俊主席用“非常好”、“非常棒”来评价了此次艺术节，他说自己感受非常深刻，尤其是中国以高校为主导的电子管风琴教学给他留下了深刻印象，并表示回国后把此次艺术节的精要部分形成文字，发表在日本著名音乐期刊《音乐之友》。他高度评价了星海音乐学院的电子管风琴教学，对星海音乐学院的工作表示衷心感谢。还向与会人员透露了明年 7、8 月即将在台湾与日本举办亚太电子键盘协会的比赛与夏令营，并期待以亚太电子键盘协会为基础，开展越来越多、越来越高水平的赛事活动，走上国际化发展道路。最后他特意用中文“加油！”与大家共勉。

阿方俊主席は「非常によかった、素晴らしかった」と今回のアーツフェスティバルを評した。阿方主席は深い感銘を受けたと語り、とりわけ中国の高等教育機関主導による電子オルガン指導が強く印象に残ったと述べた。帰国後はこのアーツフェスティバルの精髓を文章化して日本の著名な音楽ジャンルの定期刊行物『音楽の友』に発表したいとのことである。主席は星海音楽学院の電子オルガン指導を高く評価し、学院の仕事に心からの感謝の意を表した。また、参加者に向けて来年 7、8 月には台湾と日本で APEKA のコンクールとサマーキャンプが行われることを明らかにし、APEKA を基盤にますます多く、より質の高いコンクール活動や催しなどが展開し、国際的に発展していくことへの期待を表した。最後に主席は中国語で「がんばりましょう！」と述べ、皆と激励しあった。

閉会式記念コンサート

雷光耀副院长在回顾五天的重大活动的基础上，肯定了此次艺术节取得的丰硕成果，也肯定了承办单位流行音乐系所作出的努力。他认为此次艺术主题鲜明、内容丰富、安排紧凑、影响范围广、成果丰富，开启了电子键盘艺术发展与合作的新篇章，同时，他勉励与会的同仁们把艺术节的成果与各国、各地区、各高校的发展结合起来，为电子键盘艺术及音乐艺术作出更大的贡献。

雷光耀副院長は5日間の重要な活動を振り返って、このアーツフェスティバルが実り多い成果をあげたと評価し、請負部門である流行音楽学部の努力を認めた。副院長はこのアーツフェスティバルがテーマの明確さ、内容の豊富さ、運営の手際よさ、影響する範囲の広さ、成果の豊かさを備えており、電子キーボード芸術の発展と協力の新たな一ページを開いたと評した。同時に参加した同士の人々がアーツフェスティバルの成果を各国、各地域、各校の発展に結びつけ、電子キーボード芸術と音楽芸術のためによりいっそう貢献するよう激励した。

最后，闭幕式音乐会为2012广州国际电子键盘艺术节暨第二届中国音乐院校电子管风琴发展研讨会划上了圆满的句号。来自上海音乐学院、中央音乐学院、天津音乐学院、武汉音乐学院、四川音乐学院、沈阳音乐学院、西安音乐学院、华南师范大学、北京现代音乐学院、吉林艺术学院、深圳艺术学校及星海音乐学院的优秀学生用高水平的表现，展示了中国音乐院校电子键盘专业的教学成果，更让大家看到了电子键盘专业发展的未来希望与新生力量。

最後に閉会式演奏会が2012年広州国際電子キーボードアーツフェスティバルおよび第2回中国音楽大学電子オルガン発展シンポジウムに円満なピリオドを打った。上海音楽学院、中央音楽学院、天津音楽学院、武漢音楽学院、四川音楽学院、瀋陽音楽学院、西安音楽学院、華南師範大学、北京現代音楽学院、吉林芸術学院、深圳芸術学校及び星海音楽学院の優秀な学生が水準の高い演奏で、中国の音楽大学電子キーボード専攻の指導の成果を示し、見るものに電子キーボード専攻発展における未来への希望と新しい力を感じさせた。

以2012广州国际电子键盘艺术节暨第二届中国音乐院校电子管风琴发展研讨会为新起点，中国的电子键盘事业也将迈上更高的台阶！

2012年広州国際電子キーボードアーツフェスティバルおよび第2回中国音楽大学電子オルガン発展シンポジウムを新たな起点とし、中国の電子キーボード事業もさらなるステップへと踏み出すことだろう。